

大会名 Competition	第25回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-105	Year Month Day Time 2012 年 5 月 3 日 16 : 45
場所 Place	能代市総合体育館



NOSHIRO
CUP' 12

チームA		チームB															
沼津中央	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>33</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>20</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	28	1st	16	19	2nd	14	11	3rd	33	20	4th	20	OT			能代工高
28	1st	16															
19	2nd	14															
11	3rd	33															
20	4th	20															
OT																	
78 ●		83 ○															

主審:Referee

片寄 達

副審:Umpire

芳賀 聡 小川 裕之

テーブル・オフィシャル:Table officials

能代高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	望 月 孝 祐	cap	20	4	2	4	3	4	×	土 屋 真 人	CAP	31	2	7	11	1
5	×	小 松 京 太		9	0	3	3	4	5	×	佐 々 木 健 登		13	0	5	3	4
6	×	砂 川 剣 人		5	0	0	5	5	6	/	松 本 大 河		7	0	3	1	2
7	×	鈴 木 康 平		22	0	8	6	1	7	/	野 里 惇 貴		10	2	0	4	0
8	×	石 川 知 樹		15	3	2	2	3	8	/	三 根 一 求		0	0	0	0	3
9	/	神 戸 駿		6	2	0	0	0	9		畠 山 凌		-	-	-	-	0
10		田 山 航 大		-	-	-	-	0	10	×	中 島 強 太		13	0	6	1	5
11		渡 辺 拓 海		-	-	-	-	0	11	/	五 十 嵐 駆 太		4	0	2	0	1
12	/	岡 田 雄 三		1	0	0	1	1	12	×	小 田 桐 匡 志		3	1	0	0	2
13	/	山 口 力 也		0	0	0	0	0	13	×	長 谷 川 暢		0	0	0	0	3
14		鈴 木 隆 平		-	-	-	-	0	14	/	吉 川 雄 磨		0	0	0	0	0
15		CAMARA PAPE D		-	-	-	-	0	15	/	荒 木 直		2	0	1	0	0
16	/	石 丸 雅 斗		0	0	0	0	1	16		伊 藤 諒 哉		-	-	-	-	0
17		MORITA BERNARD		-	-	-	-	0	17		安 保 友 貴		-	-	-	-	0
18	/	藤 原 翔 真		0	0	0	0	2	18		渡 邊 竜 也		-	-	-	-	0
コ-チ		杉 村 敏 英							コ-チ		佐 藤 信 長						
アコ-チ		駒 形 順 治							アコ-チ		平 山 智 哉						
		合 計		78	9	15	21	20			合 計		83	5	24	20	21

※×:スター /:交代選手 PTS:ホ-イント 3P:3Pホ-イントシュート 2P:2Pホ-イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q:両チームともゲーム開始時のディフェンスはハーフコートマンツーマン。序盤、沼津は#4望月がミドルレンジからシュートを決め、リズムよく得点を重ねる。対する能代工はなかなかリバウンドを取ることができず、何度もシュートの機会を与えてしまう。開始5分、点差が2ケタに開いたところで、能代工はタイムアウトを請求。その後、#4土屋の3Pで得点するが相手のドライブに対してファウルがかさむ。沼津中央は与えられたフリースローを確実に沈め、点差を広げる。離されまいとする能代工は残り3分からプレスディフェンスを仕掛け、少しずつ得点を増やすも、28-16と沼津中央の12点リードで第1Q終了。

2Q:能代工は序盤から早い展開のバスケットに持ち込むと、#10中島のドライブなどで点差を1ケタまで縮める。リバウンドから速攻につなげたい能代工は#15荒木を投入すると、ゾーンディフェンスに切り替える。中盤は一進一退の攻防を繰り返すが、沼津中央は残り3分でタイムアウトを取ると、#9神戸#8石川の連続3Pで一気に点差を伸ばす。依然として前線からディフェンスでプレッシャーをかける能代工だが、ファウルが増え、相手にフリースローを与えてしまう。47-30と沼津中央がリードを広げたところで第2Q終了。

3Q:序盤、能代工は#5佐々木が鋭いドライブをから連続して得点する。激しいディフェンスを続ける能代工に対して、沼津中央は落ち着いたプレスダウンを見せる。それでもディフェンスの足を止めない能代工を前に、沼津中央のシュートが落ち始める。この間に能代工は一気に点差を詰めると、残り4分、#4土屋のバスケットカウントで一気に逆転する。終盤、ここまで攻守にわたって活躍の#10中島がファウルアウトするも、能代工の勢いは止まらない。58-63と能代工がリードし第3Q終了。

4Q:外からのシュートが思うように決まらない沼津中央に対し、能代工は果敢にドライブを続け得点につなげる。中盤、沼津中央は#5小松がバスケットカウントを奪うと、能代工はすかさずタイムアウト。コーチから冷静にプレイするよう指示が出る。粘りを見せる沼津中央は#4望月の連続3Pで一気に追いつくも、すかさず能代工#7野里が3Pを決め返す。その後も沼津中央はアウトサイドからシュートをねらい追いつがるも、早い展開のプレイを最後まで続けた能代工が強さを見せ、78-83で勝利を手にした。

文責 【 工藤 央弥 】